

平成27年度公益財団法人国際エメックスセンター事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1 閉鎖性海域環境保全推進事業

ア 第11回世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス11）の開催準備等

① エメックス11の開催準備 [13,318千円]

エメックス11は、「ロシア科学アカデミー世界海洋ワーキンググループ (Sea Coasts)」との協働により「EMECS 11- Sea Coasts XXVI ジョイント会議」として、平成28年(2016年)8月22日(月)～27日(土)サンクトペテルブルク(ロシア)で開催することとしている。

ロシアでのエメックス会議開催は初めてであり、現地の政府関係機関や研究機関、関連団体等とのネットワークの構築など、エメックス11開催に向けた資金面、人材面での協力を得られるよう準備進めてきた。

この一環として、平成27年8月に国際エメックスセンター事務局員がロシアを訪問し、モスクワの日本大使館、国際地理学会議並びにシルショフ海洋学研究所において協力要請を行った。

また、会議開催地であるサンクトペテルブルクにおいては、日本国総領事館やサンクトペテルブルク市幹部への協力要請の他、現地事務局となるロシア国立水文気象大学、カルピンスキー地質調査研究所との具体的な協議を進めるとともに、実施に向けた覚書に調印した。

これにより、同年9月にEMECS'11 SeaCoasts XXVIに関するウェブサイト(英語版・ロシア語版)が現地事務局において開設され、参加登録やアブストラクトの受付等を開始した。

【エメックス11の概要】

[名称] EMECS 11- Sea Coasts XXVI ジョイント会議
[時期] 平成28年(2016年)8月22日(月)～27日(土)
[場所] アジムットホテル・サンクトペテルブルク(ロシア)
[テーマ] 変動する世界における沿岸域・コミュニティのリスク管理
[主催] 公益財団法人国際エメックスセンター(EMECS)
ロシア科学アカデミー世界海洋ワーキンググループ(Sea Coasts)

[現地事務局]

ロシア国立水文気象大学(RSHU)
ロシア科学アカデミー P.P.シルショフ海洋学研究所(IO RAS)
A.P.カルピンスキーロシア地質研究所(VSEGEI)

[内容]

基調講演、テーマセッション、ポスターセッション、フィールドトリップ等で構成する他、学生を対象とする青少年環境教育交流セッション(SSP)を開催。

【調整の状況】

〔出張期間〕平成27年（2015年）8月19日（水）～26日（水）

〔出張先〕モスクワ及びサンクトペテルブルク

〔出張者〕富岡寛美専務理事、川脇康生事務局長他

〔協議等〕科学・政策委員コシアン教授等とともに関係各所を訪問し、
国際会議開催への協力を依頼。

- 日本国大使館を訪問し会議への協力及び参加等を要請
- 国際地理学会議において関係者に協力要請
- シルショフ海洋学研究所セミナーにおいて広報活動
- カルピンスキー地質調査研究所長と面談
- 日本国総領事館を訪問し会議への協力及び参加等を要請
- ロシア国立水文気象大学との会議開催に関する覚書交換
- サンクトペテルブルク市科学・高等教育委員長、市議会委員長等と面談し協力要請

② エメックス12の開催検討

「第12回エメックス会議」は、平成30年（2018年）のタイでの開催を予定している。平成27年（2015年）6月に開催した科学・政策委員会では、タイ国内での複数の開催候補地が検討され、また平成28年（2016年）3月には、渡邊科学・政策委員長がタイを訪問し、メナサウエイド科学・政策委員等と、具体的なテーマや開催候補地等について協議を行った。現在、現地事務局からは「気候変動への適応と沿岸域管理」「生態系システムと津波被害」などをテーマとし、プーケット島で平成30年（2018年）11月に開催する案が提案されており、引き続き開催に向けて調整を行っている。タイでのエメックス会議の開催は平成15年（2003年）のバンコクでの開催に次ぐ2回目となる。

③ 科学・政策委員会の開催

平成27年（2015年）6月に科学・政策委員会を開催し、沿岸域管理政策のレビューと、エメックス11の開催内容やエメックス12の開催について協議・検討を行ったほか、今後のエメックス活動の推進について検討・調整を図った。

【科学・政策委員会の概要】

〔開催時期〕平成27年（2015年）6月18日（木）

〔開催場所〕兵庫県公館（神戸市中央区）

〔協議内容〕

（1）EMEC S11について

コシアン委員によるサンクトペテルブルク（ロシア）で開催予定のEMEC S11の準備状況について説明があり、その内容について協議を行った。

(2) EMECS12について

EMECS12のタイでの開催について、メナサウエイド委員からの具体の候補地の提案があり検討を行なった。

④ 閉鎖性海域情報センター整備検討委員会の開催

「国際エメックスセンターあり方検討委員会」における協議およびその後の検討結果を踏まえ、エメックスセンターが、世界の閉鎖性海域の情報を集約し、付加価値を高めて情報発信していくワンストップセンターとなることをめざすこととなった。

このため、その具体的な手法について検討を行うことを目的として、専門家で構成されるタスクフォースチーム「閉鎖性海域情報センター整備検討委員会」を立ち上げ、閉鎖性海域情報センター（仮称）の具体的な内容等について検討を行った。

【閉鎖性海域情報センター整備検討委員会の概要】

〔開催時期〕平成28年（2016年）2月9日（火）

〔開催場所〕ANAクラウンプラザホテル（神戸市中央区）

〔出席委員〕松田治委員、柳哲雄委員、古川恵太委員、柴山知也委員、梅本諭委員

〔協議内容〕

(1) 世界閉鎖性海域情報センター整備に向けた検討について

(2) その他

イ エメックス国際セミナーの開催

〔1,824千円〕

これまでのエメックス会議の成果を踏まえるとともに、エメックス11に向けた機運を醸成していくため、「世界の閉鎖性海域 ～自然生態系と人間活動の調和をめざして～」を総合テーマとして、基調講演、講演、パネルディスカッションなどを行った。

【エメックス国際セミナーの概要】

〔開催時期〕平成27年（2015年）6月19日（金）13:30～16:30

〔開催場所〕兵庫県公館大会議室（神戸市中央区）

〔テーマ〕 世界の閉鎖性海域
～自然生態系と人間活動の調和をめざして～

〔内 容〕

基調講演 陸域の人間活動と沿岸域の環境

鈴木基之（国際エメックスセンター会長・元中央環境審議会議長）

講演1 日本の沿岸海域管理政策のレビューとこれから

根木桂三（環境省水・大気環境局閉鎖性海域対策室長）

講演 2 気候変動と北西ヨーロッパの持続可能な河口管理
ジャンポール・デュクロトワ（ハル大学名誉教授）

講演 3 中国・南水北調プロジェクト ～南の水を北へ～
陳 中原（華東師範大学教授）

パネルディスカッション

座長：松田治（広島大学名誉教授）

第11回世界閉鎖性海域環境保全会議の案内

渡邊正孝（中央大学研究開発機構教授）

ルーベン・コシアン（ロシア科学アカデミー・シルショフ海洋科学研究所南部支部沿岸研究部リーダー）、ジョージ・ゴゴベリゼ（ロシア国立水文気象大学副学長）

環境研究プロジェクト:持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発
柳哲雄（九州大学名誉教授・国際エメックスセンター特別研究員）



ウ 国内外機関との連携

〔7,099千円〕

エメックス会議の開催をはじめ、国際的な調査・研究事業の推進に向けて、海外研究者等との人的ネットワークを構築していくため、関連する国際会議等に科学・政策委員等を派遣し、エメックス活動のPRを行った。

① ヴァルナ市（ブルリア）

〔訪問者〕 仲上健一（立命館大学特任教授）、事務局2名

〔訪問時期〕 2015年（平成27年）10月6日（木）～10日（土）

〔内容〕 MEDCOAST財団がブルガリア・バルナで開催したMEDCOAST15に参加し、立命館大学仲上健一特任教授による環境省環境研究総合推進費S-13「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」に関する発表の他、国際エメックスセンターからはエメックス会議などに関する発表を行うとともに、ポスター展示などによるエメックス活動の広報を行った。

② ジャカルタ市（インドネシア）

〔訪問者〕 柳哲雄（国際エメックスセンター特別研究員）、事務局3名

〔訪問時期〕 2015年（平成27年）10月7日～8日

〔内容〕 国際エメックスセンターは、BPPT（インドネシア応用技術庁）・PICES（北太平洋海洋科学機構）・水産庁・インドネシア海洋漁業省とともに、インドネシア・ジャカルタ市において、第3回里海国際ワーク

ショップを開催した。このワークショップは2013年のジャカルタ、2014年のペカロンガンに続くものである。柳特別研究員が基調講演において戦略研究プロジェクト（S-13）の紹介などを行ったほか、ポスター展示などによりエメックス活動の広報を行った。

③ PEMSEA（東アジア海域環境管理パートナーシップ）等との連携

平成20年（2008年）よりエメックスが非政府パートナーとして加入しているPEMSEA（東アジア海域環境管理パートナーシップ）が、平成27年（2015年）11月にダナン（ベトナム）で開催したEASコンGRESS2015に参加した。

この会議におけるワークショップの一つとして、松田治副理事長（広島大学名誉教授）等が座長となり、「日本におけるICM適用の成功事例・イノベーション・インパクト（Good Practices, Innovation and Impacts in ICM Applications in Japan）」をテーマに事例発表が行われた。



柳哲雄国際エメックスセンター特別研究員、日高健近畿大学教授等が、戦略研究プロジェクト（S-13）の実施状況等を紹介するとともに、展示ブースでは、エメックス会議や戦略研究プロジェクト等を紹介するポスター展示を行うなど広報活動を行った。

また、EASパートナーシップ会合及び閣僚級会合には、松田治副理事長と川脇康生事務局長が出席した。

④ ECSA（河口域・沿岸科学学会）との連携

平成27年（2015年）9月にロンドン（イギリス）で開催されたECSA（Estuarine & Coastal Sciences Association）の国際会議（ECSA55）において、柳哲雄特別研究員が戦略研究プロジェクトの紹介を行った。また、エメックス活動の一環として、科学・政策委員会委員とともに「エメックスセッション」を開催し、優秀口頭発表者や優秀ポスター発表者に対し「エメックス学生賞」を授与した。

エ 調査研究事業 [42,211千円（うちS-13プロジェクト39,667千円）]

① 戦略研究プロジェクトS-13「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」の実施

環境省から環境研究総合推進費による戦略研究プロジェクトS-13を受託し、平成26年度（2014年度）から5年間にわたり、当センター特別研究員である

柳哲雄九州大学名誉教授をプロジェクトリーダーとして、プロジェクトの全体管理を行うとともに、統合数値モデル構築などに、関係大学・研究機関とともに取り組んでいる。

【戦略研究プロジェクト（S-13）の概要】

○総括：プロジェクト全体の管理と沿岸海洋管理哲学の提示

テーマ5：沿岸海域管理のための統合数値モデル構築

○テーマ1：閉鎖性海域・瀬戸内海における栄養塩濃度管理法の開発

○テーマ2：開放性内湾が連なる三陸沿岸海域における海域管理法の開発

○テーマ3：陸棚・島嶼を含む国際的閉鎖海域・日本海の海域管理法の開発

○テーマ4：沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示

*各テーマの下にはさらに1～4のサブテーマが設けられている。

予算規模 プロジェクト全体で年間1.4億円 平成27年度（2015年度）

研究期間 5年間（平成26～30年度）

平成27年度における主な事業内容は次のとおりである。

(ア) 公開成果発表会の開催

研究活動の内容や成果の発信を行い国民との科学技術対話に資するため、

プロジェクトにかかわる全テーマリーダー（テーマリーダー及びサブテーマリーダー計15名）が研究発表を行う「公開成果発表会」を開催し、研究の内容やその進捗状況等を説明するとともに



に参加者との意見交換を行った。

- 日時：平成27年11月5日（木）
- 場所：WTCコンファレンスセンター（東京都港区）
- 参加者数：約100名

(イ) 拡大アドバイザリーボード会合等の開催

研究の途中段階で、当該分野に見識のあるアドバイザーから研究の進め方等についてアドバイスを得るため、プロジェクトの全関係者が参加するアドバイザリーボード会合を開催するとともに、環境省専門部会委員も加えた拡大アドバイザリーボード会合を開催した。

- アドバイザー：
 - 武岡英隆（愛媛大学教授）、玉置昭夫（長崎大学教授）
- 第1回アドバイザリーボード会合
 - 平成27年6月18日（月） 兵庫県民会館
- 拡大アドバイザリーボード会合
 - 平成27年11月6日（金） W T C コンファレンスセンター

(ウ) ホームページの運営

研究の進捗状況や成果等を国内外へ情報発信するため、国際エメックスセンターのホームページ内に当プロジェクトのウェブサイトを経営し、日本語及び英語による情報提供を行っている。

(エ) 統合数値モデルの開発

統合的沿岸海域モデル構築の一環としての数値計算を行うとともに、ワーキング会議を開催する等により沿岸海域管理のための統合数値モデルの開発に取り組んでいる。

- 平成27年度の数値計算
 - ・大阪湾における転送効率計算（イカナゴ、シラス）
 - ・志津川湾におけるカキ養殖の環境容量計算
- 第1回ワーキング会議
 - 平成27年10月26日（月） 神戸市勤労会館
- 第2回ワーキング会議
 - 平成28年1月28日（木） 東京国際フォーラム

② 尼崎港実証実験施設の活用

水質や底質、生物の生息環境の劣化等の進んだ湾奥部の環境の再生をめざして尼崎港に設置している人工干潟等の実証試験施設を共同研究の場として活用し、大阪府立大学による藻類・硫黄酸化細菌調査、兵庫県環境研究センターによる干潟の浄化作用等、関係大学や研究機関と連携して閉鎖性海域の環境保全・創造方策に関する調査研究の推進を図った。



実験用筏

なお、これらの施設は平成13年に設置したもので、老朽化が進んでいることから、人工干潟観察用通路のうち特に腐食の激しい部分については平成27年11月に改修工事を行った。（改修工事費：2,052千円）

【尼崎港実証実験施設】

実証実験施設は、エメックスセンターが平成13年度（2001年度）から平成15年度（2003年度）まで、環境省の補助金を得て実施した「閉鎖性海域の最適環境修復技術のパッケージ化」事業において、尼崎港に設置した人工干潟、筏、エコシステム護岸である。

補助事業の終了後も研究者の調査研究や環境学習に有効活用している。

2 情報収集整備活用事業

ア インターネットによる情報発信等

〔2, 146千円〕

閉鎖性海域の環境保全と適正な利用に関する情報収集・発信のため、エメックス会議に関する各種情報（開催案内、論文募集情報、開催概要等）の提供、エメックス国際セミナー等の開催概要、エメックスセンターの活動内容（出版・調査研究実績等）等について、ホームページ（日本語・英語）に情報を適時に掲載するなどインターネットを通じた情報発信を行っている。



国際エメックスセンターホームページ

イ エメックスニュース等による情報発信

〔1, 651千円〕

エメックス国際セミナーの開催状況やエメックスセンターの事業内容等の情報を発信するため、「エメックスニュース No36」を発行する（日本語・英語）。また、メール配信システム（メルマガ）を利用して、会議開催案内、論文募集等など、タイムリーな情報発信を年6回程度行っている。

【エメックスニュース No36 の内容】

- ・エメックス国際セミナー報告
- ・MEDCAST15（ヴァルナ）、EASCONGRES2015（ダナン）、Satoumiワークショップ（ジャカルタ）、ECSA55（ロンドン）への参加報告
- ・EMECES11-SeaCoasts XXVIジョイント会議のご案内 など

3 人材育成・普及啓発事業

ア 海の環境学習人材育成事業

〔1,831千円〕

尼崎港内に設置している実験筏等を活動フィールドとして提供し、環境学習活動に対して支援を行っている。「尼海の会（尼崎市立成良中学校ネイチャークラブが中心）」では徳島大学上月教授等を指導者として、冬季にワカメを育て、堆肥化したワカメなどで菜の花を育て、菜種油からディーゼル燃料を精製する、という活動（菜の花プロジェクト）を実施した。

今後とも、環境学習人材育成の場として、有識者、地元中学・高校、NPO、兵庫県尼崎港管理事務所、武庫川下流浄化センター、大阪湾広域臨海環境整備センターなど、関係者・関係機関とも協力・連携して活動を推進していくこととしている。



尼海の会の活動

イ 環境イベントへの出展等

〔766千円〕

兵庫県が主催する「ふれあいの祭典 淡路ふれあいフェスティバル（平成27年(2015年)11月13日（土）～14日（日）、淡路市）」に出展し、海の環境に関するパネル展示を行うなど、エメックスセンター活動の普及啓発と閉鎖性海域の状況、海の生態系等に関する情報発信を行った。

【ふれあいの祭典 淡路ふれあいフェスティバルの概要】

〔日 時〕平成27年11月13日（土）～14日（日）

〔場 所〕

〔共同出展者〕ひょうご環境保全連絡会、兵庫県フロン回収・処理推進協議会、国際エメックスセンター、瀬戸内海環境保全協会、兵庫県水大気課

〔内 容〕ブース展示

- ・チリメンモンスター
- ・環境パネル展示
- ・ドライブシミュレーター
- ・環境クイズ など



ブース展示

II 理事会・評議員会の開催

1. 理事会の開催

ア 第10回理事会

[開催日] 平成27年5月29日(金)

[開催場所] 兵庫県公館第2会議室

議案第1号 平成26年度事業報告に関する件

議案第2号 平成26年度決算報告に関する件

議案第3号 任期満了に伴う評議員候補者の推薦に関する件

議案第4号 任期満了に伴う評議員選定委員会外部委員の選任に関する件

議案第5号 評議員会の招集に関する件

報告第1号 国際エメックスセンターの今後のあり方について(状況報告)

イ 第11回理事会(書面表決)

[開催日] 平成27年6月16日(火)

議案第1号 理事長(代表理事)の選定に関する件

議案第2号 副理事長の選定に関する件

議案第3号 専務理事(業務執行理事)の選定に関する件

ウ 第12回理事会

[開催日] 平成28年2月23日(火)

[開催場所] 兵庫県公館第2会議室

議案第1号 平成27年度収支予算の変更に関する件

議案第2号 平成28年度事業計画に関する件

議案第3号 平成28年度収支予算に関する件

議案第4号 評議員会の招集に関する件

報告第1号 平成27年度事業進捗状況について

報告第2号 第11回世界閉鎖性海域環境保全会議(エメックス11)について

報告第3号 閉鎖性海域情報センター(仮称)について

2. 評議員会の開催

ア 第8回評議員会

[開催日] 平成27年6月16日(火)

[開催場所] 兵庫県公館第2会議室

議案第1号 平成26年度決算報告に関する件

議案第2号 任期満了に伴う理事の選任に関する件

議案第3号 任期満了に伴う監事の選任に関する件

議案第4号 専務理事の報酬に関する件

報告第1号 平成26年度事業報告について

報告第2号 任期満了に伴う評議員の選任について

報告第3号 評議員選定委員会外部委員の選任について

報告第4号 顧問の選任について

報告第5号 国際エメックスセンターの今後のあり方について（状況報告）

イ 第9回評議員会（書面表決）

[開催日] 平成27年6月16日（火）

議案第1号 会長選任の承認に関する件

議案第2号 評議員選定委員会評議員委員選定に関する件

ウ 第10回評議員会

[開催日] 平成28年3月22日（火）

[開催場所] 兵庫県公館第2会議室

報告第1号 平成27年度収支予算の変更に関する件

報告第2号 平成28年度事業計画に関する件

報告第3号 平成28年度収支予算に関する件

報告第4号 平成27年度事業進捗状況について

報告第5号 第11回世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス11）について

報告第6号 閉鎖性海域情報センター（仮称）について